

4-1-4 医療連携室

1. 概要

よりよい医療を提供するためには、医療の役割分担を明確にし各関連医療機関との連携を密にする必要がある。当センターと地域医療機関との連携がスムーズに行えるよう、平成14年5月から医療連携室が設置された。同時に患者サービスの向上のための種々の役割も担っている。

1.1 役割

高度専門医療、急性期病床としての機能を主とする当センターと地域の医療機関との連携をスムーズにできるよう、医療連携室を窓口として他医療機関からの種々の問合せの対応を行っている。

1.2 具体的業務

1. 医療機関からの問合せへの対応。

紹介患者の予約。専門分野医師の紹介。紹介返事の問合せ。紹介患者報告書の発送。紹介患者返事未報告医師への連絡。外来担当表の送付。紹介患者様への連絡。

1.3 患者相談室での対応

かかりつけ医の紹介。病院に対する意見、苦情の対応。病気・けがに伴う生活上の相談の対応。

1.4 院内スタッフへの広報

紹介患者報告書を確実に返送すること、逆紹介患者率をアップすることなどのため、担当医師の意識を高める働きかけを行っている。

2. 成育医療臨床懇話会

地域医療施設との連携を密にする目的の一つとして地域の医師に開放した上記講演会を開催している。平成19年度は下記の2回が行われた。

1. 第10回成育医療臨床懇話会（2007. 5. 26） 1. 症例報告2題 総合診療部レジデント、2. 「ラオスの国際医療支援」。総合診療部 島田姿野、3. 「小児のメタボリックシンドローム」。内分泌代謝科 堀川玲子、4. 「思春期の子どもの心」 育児心理科 笠原真理
2. 第11回成育医療臨床懇話会（2007. 12. 01） 1. 症例報告3題 総合診療部レジデント、2. 「画像だけではないMRIの世界～ 機能・微細構造・発達へのアプローチ」 静岡てんかん。神経医療センター 鈴木雄治 先生 3. 「成長曲線からわかる病気」 第一専門診療部部長 横谷進

3. 救急登録医制度

地域開業医の先生が直接当センター救急室に出向き、患者さんの診療にあたりると共に、レジデントの指導も行ってもらっている。